

## 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

### ■総合計画上の位置付け

総合計画 P71～74

基本目標	3	心豊かで文化を育む人づくりのまち
施策目標	1	学校教育の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
安全な教育環境が整い、「生きる力」を育む特色ある教育活動がより一層進んだまち家庭・地域・学校が一体となって、子どもの安全が一層保たれたまち		

### ■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)「生きる力」の育成を重視した教育活動の推進	学校教育課	中学2年生を対象とした広島派遣研修により平和を願う心情と命の尊さの学習を、A.L.Tによる英語教育や教員の英語指導力向上研修によりグローバル化社会に対応する能力の育成を、適切な就学相談・指導により児童・生徒に合った教育的ニーズと必要な支援の提供を、ラジオ体操の励行等により健康増進を、学習支援ボランティアが行う体験活動や文化的指導により地域に開かれた学校づくりへ繋げ、教育活動の推進を図りました。	A
(2)外国人生徒への多言語対応	学校教育課	日本語指導が必要な外国人生徒に対する授業において、支援員の配置や自動翻訳機の活用による支援を行うとともに、小学校就学前にひらがなや数字に触れ、日本の習慣に慣れるためにプレスクールを開催し、市民活動団体の協力により、外国人中学生を対象に学習講座を開催するなど、支援の充実に努めました。しかし、外国人生徒への対応により教員の多忙化はますます進み、解決を図るためには今後も支援を充実する必要があります。	B
(3)学校施設・設備の整備	学校教育課	老朽化した弥富北中学校校舎等について、長寿命化改良工事を行いました。また、令和7年度からの弥富中学校と十四山中学校の再編に伴い、弥富中学校の改修工事を行いました。ICT環境は整備されていますが、次期タブレット更新時には文部科学省が課題として挙げている「ネットワーク通信速度の改善」も合わせて検討を進めていきます。	A
(4)防災教育の推進と通学時の安全対策の推進	学校教育課	児童・生徒が安全安心に登下校できるよう、引き続き、新小学1年生に通学用ヘルメット・安全ブザーを配付しました。また、警察と連携した交通安全教室の開催や、スクールガードと連携した交通安全・防犯対策に取り組みました。防災教育という観点では、各学校において避難訓練及び防災講座を開催するとともに、地元企業や高校等と連携した防災キャンプの開催により、児童・生徒の防災意識の向上に努めました。	A
	市民協働課	児童・生徒の通学時の安全確保を図るため、ゼロの日（10日、20日、30日）の登校時間帯において、交通指導員による立明指導を実施しました。また、下校時間帯に合わせて青色防犯バトロール会が自主的な防犯活動を行うなど、行政・市民の協働による交通安全・防犯体制が確保されています。	A
	土木課	通学路交通安全プログラム事業の一環として、森津地内と芝井地内において、グリーンベルト（カラー舗装）の整備を行い、交通事故の危険因子の減少へと繋がりました。	A
(5)保・幼・小・中の連携強化	学校教育課	幼稚園、保育所と連携を取り、就学前の子どもの情報を「あんしんつながるシート」によって保護者から収集し、小学校入事前にも子どもの様子を伝えることで、入学前に新入生の特性について把握することができました。	A
	児童課	公立保育所及び民間認定こども園とともに、教育委員会及び小学校等との連携強化により、支援を必要とする児童等の情報共有を図り、相談支援体制の充実に取り組みました。 【取組事例】特別支援教育連絡会、個別ケース検討会議	A
(6)学校規模の適正化に向けた取組の推進	学校教育課	令和7年度から十四山中学校を弥富中学校へ編入するため、弥富中学校の改修工事及び生徒の交流活動、十四山中学校の閉校行事などを行いました。また、令和10年度からの小学校再編整備に向け、小学校再編委員会での検討及び保護者や地域住民への説明会、弥富市学校設置条例の一部改正などを行いました。	A
(7)いじめ・不登校等の克服	学校教育課	子どもや保護者を取り巻く課題は複雑化しており、その内容は学校内に限らず多岐に渡ります。心の問題にはスクールカウンセラーを、生活環境等の問題にはスクールソーシャルワーカーを配置し学校内に相談体制を整え、学校では相談しづらい内容の相談ができる「カワフル」、学校に登校できない児童・生徒の学習や相談ができる「アクティブ」を運営することで学校外の相談体制を整えることで、教育相談体制の充実に努めました。	A
	児童課	児童・生徒が家庭や学校など身近な人に直接相談しにくい悩みや困りごとを、電話や対面、電子メールや手紙から本人に合った方法により相談することができる「やとみっ子悩み相談室」を実施し、悩みを抱える児童・生徒の支援を行うことができました。	B
(8)教員の多忙化解消プラン	学校教育課	教職員の事務の簡素化のため、引き続き校務支援システムを運用することにより事務の効率化を図りました。また、一部の部活における部活動指導員の配置やスクール・サポート・スタッフの配置により、教職員の負担軽減に努めました。今後は部活動の地域移行の検討を進めるとともに、校務支援システムの更新時には教職員の事務負担の更なる軽減に繋がるよう、充実したシステムへの更新を検討していきます。	A

### ■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(1)特別支援教育支援員全体の年間支援時間	時間	22,972	27,335.5					26,000	○
(1)学習指導ボランティア	人	40	44					40	○
(3)小中学校長寿命化改良事業の校数	校	2	3					5	○
(7)スクールカウンセラーの年間配置時間数	時間	934.5	3,879.5					1,000	◎
(7)スクールソーシャルワーカーの年間配置時間数	時間	1,110	1,338					1,500	○

■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】 必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)特別非常勤講師派遣事業	12,015	★★★★	この事業は学校教育の多様化の促進を目的とする一方、小学校においては、専科教員が配置されることで担任が子どもたち一人ひとりと向き合う時間の確保が可能となり、子どもたちへのきめ細かな対応へと繋がります。引き続き学校の要望を調査しながら、非常勤講師の適正配置に努めます。	継続 (現状維持)
(1)平和教育推進事業	16,828	★★★★	生徒一人ひとりが平和を願う心情と命の尊さを理解するため、事前に個人及びグループ単位で各教科横断的に学習を深め、実際に被爆地となった広島へ赴くことで戦争の悲惨さや怖さを五感で感じ、体験後は学習発表会や平和パネル展等により他の生徒や市民へ周知することは大変意義があり、今後も事業を継続させる必要があります。	継続 (現状維持)
(1)英語指導者委託事業	20,790	★★★★	グローバル化が進む中において、英語教育における外国語指導助手（ALT）のニーズは大きく高まっているため、引き続きALTを配置するとともに、教員の英語指導力向上研修を通して指導体制の強化にも取り組んでいきます。	継続 (現状維持)
(1)特別支援教育支援員事業	40,114	★★★	小中学校において、特別支援学級のみならず、普通学級においても特性をもった子どもたちが増加傾向にあります。その一方で、支援員の確保が難しく、支援員の年間支援時間が減少傾向にあります。学校の要望を調査しながら、適正な支援員を確保できるよう努めていく必要があります。	継続 (改善)
(1)学校支援者制度及び学校評議員制度活用事業	332	★★★★	引き続き地域の学習支援ボランティアの方や評議員と連携しながら学校運営を進めていきますが、小中学校の統合により学区が広がる学校もあるため、各学区の学校支援ボランティアの方との関係性が希薄とならないよう考慮する必要があります。	継続 (現状維持)
(3)小中学校長寿命化改良事業	414,444	★★★★	長寿命化改良工事は、建替に比べ費用を大きく抑えることができます。令和7年度からは3か年で十四山西部小学校の増改築を行う予定で、その工事の中で令和8年度から9年度にかけて長寿命化改良を行う予定です。引き続き、コストの削減や施設の安全管理に重点を置いて事業を進めます。	継続 (現状維持)
(3)情報機器整備事業	64,536	★★★★	社会全体でデジタル化が急速に進む中、将来必要とされる「情報活用能力」や「プログラミング的思考能力」などの能力を子どもたちに身に付けさせることがますます重要になっています。子どもたちへ効率的でわかりやすい授業を実施するには、引き続き国のGIGAスクール構想に基づき、ICTを有効活用した授業が必要となるため、適切にタブレット端末やネットワークなどの情報機器の更新が必要となります。	継続 (現状維持)
(5)市立保育所民営化（認定こども園化）事業	18,500	★★★★	指定候補法人から派遣された保育士と共同で保育を実施することで児童の保育環境の変化を最小限におさえ、スムーズな移管を行うことができました。公立保育所の民営化基本方針に基づき、今後も民営化及び認定こども園化を進めていきます。	継続 (現状維持)
(6)小中学校適正規模配置事業	176,091	★★★★	令和7年度4月に十四山中学校を弥高中学校へ編入するにあたり、不足する普通教室・特別教室・駐輪場などの改修工事を行うことで教育環境の整備をしました。今後は令和10年度からの小学校再編整備に向け、令和7年度から3か年で十四山西部小学校の増改築を行う予定です。	継続 (現状維持)
(7)いじめ問題対策事業	882	★★★★	児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめ問題を未然に防いだり、いじめの早期の発見・解決を図るためには事業の継続が必要です。	継続 (現状維持)
(7)教育支援センター事業	10,346	★★★★	学校に登校しなくてもできない児童・生徒にとっての社会的自立を促すためには教育センターは必要不可欠であるため、引き続き事業を継続します。また、鍋田支所の廃止に伴い、十四山支所に移転するための工事が必要となります。	継続 (現状維持)
(7)SC（スクールカウンセラー）配置事業	20,560	★★★★	不登校児童・生徒やその保護者の心の相談ニーズは高く、引き続き学校と調整を行い、スクールカウンセラーを配置していきます。小中学校の再編が進んでいくにつれて学校数が減っていくものの、児童生徒、保護者及び教職員の心のケアを考慮し、小中学校再編が落ち着くまでは現状の配置を維持していきます。	継続 (現状維持)
(7)SSW（スクールソーシャルワーカー）設置事業	3,447	★★★★	学校でのいじめや不登校、家庭内での虐待に加え、ヤングケアラーなど児童・生徒を取り巻く課題は多く、生活環境から関わり、学校・家庭・地域などと連携し課題の解決を目指すためには、引き続きスクールソーシャルワーカーの配置が必要です。	継続 (現状維持)
(7)こども相談事業	1,477	★★★★	「やとみっ子お悩み相談室」の案内を市内の小中学校に配布し、メール・電話・手紙・面接等で相談を実施しています。引き続き、必要に応じて子どもたちの支援ができるよう、継続して相談を実施する必要があります。また、「カラフル」における月2回の相談支援については、学校内で相談しにくいことにも対応できるため、毎回予約で埋まっている状況にあるため、引き続き相談支援体制を確保する必要があります。	継続 (現状維持)
(8)校務支援システム事業	33,218	★★★★	校務支援システムにより教職員の勤務出退勤管理、スケジュール管理、メール管理、児童生徒の出席管理、成績表管理及び身体測定管理等を一括管理することができます。引き続き、教職員の事務の簡素化とデータ管理の向上を図るため、校務支援ソフト・システムの充実に努めます。	継続 (現状維持)

■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】

知・徳・体のバランスが取れ、社会の変化に対応して主体的によりよい生き方を実践することができるよう、児童・生徒の将来に生きる力を育むことを目指し事業を進めます。不登校、SC、SSW事業については、福祉部局と連携しながら重層的支援に努めます。

## 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

### ■総合計画上の位置付け

総合計画 P75～76

基本目標	3	心豊かで文化を育む人づくりのまち
施策目標	2	生涯学習の充実
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
誰もが生涯にわたって主体的に学び続け、その成果がまちづくりに活かされるような、学習環境が整ったまち		

### ■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)生涯学習に関する指針の策定・推進	生涯学習課	市民一人ひとりが生涯にわたり学習し、学びの循環を通して市民同士のつながりを深め、学習の成果を生かすことで、豊かなまちづくりにつながる生涯学習社会の実現を目指して、関係機関や市民に意見を求めながら「弥富市生涯学習推進計画」を令和6年度に策定しました。	B
(2)生涯学習講座・教室の充実	生涯学習課	生涯学習講座・教室は参加者のニーズを把握し、内容を見直しながら開催しており、文化展では市内小中学生の作品展示を行ったため保護者の参加が多くなったなどを要因に、生涯学習講座や教室などへの参加者数は増加しました。今後もこれらの取組を継続し、参加者数の増加を目指していきます。	A
(3)図書館の充実	図書館	令和6年度は弥富まちなか交流館リニューアル工事設計業務が完了しました。図書館機能もリニューアルすることとなり、親子が安心して利用できる空間・雰囲気作りを目指して、新たに「キッズライブラリー」や本に囲まれた「コドモ基地」を整備する予定です。リニューアルを契機として、書架の配列方法の見直しや新たなイベントの開催を検討し、利用者が利用しやすい図書館運営を目指していきます。	B
(4)関連施設の計画的な改修・設備修繕	生涯学習課	白鳥コミュニティーセンター特定天井撤去改修工事及び空調設備工事を行い、施設利用者に対し安全かつ快適な設備を提供しました。また、中央公民館調理室ルーフファン取替修繕、南部コミュニティーセンター陶芸棟修繕などを行い、適切な施設管理を行いました。所管各施設の建物・設備ともかなり老朽化しているため、日々の故障を修繕するだけでなく、設備の耐用年数や適切な更新時期を把握しメンテナンスする必要があります。	C
(5)指導者の育成・確保・活動の促進	生涯学習課	生涯学習活動をサポートする指導者やボランティアや生涯学習アドバイザーの育成・確保には至りませんでした。が、生涯学習団体の活動を支援するとともに、文化協会、女性の会、生涯学習講座講師等と連携して各種研修の提供及び参加促進を行うことで、指導者の育成に努めていきます。	D

### ■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2)生涯学習講座・教室などへの参加者数	人	1,795	3,618					2,100	◎
(3)図書館利用者数	人	31,087	29,340					43,000	○
(4)中央公民館利用者数	人	54,717	34,438					85,000	△
(4)南部コミュニティーセンター利用者数	人	24,499	16,720					29,000	△
(4)白鳥コミュニティーセンター利用者数	人	30,257	24,120					45,000	△

### ■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(2)生涯学習講座・教室開催事業	629	★★★★	市民にとって身近で参加しやすい生涯学習講座の充実に努めます。	継続 (現状維持)
(3)図書館管理運営事業	21,677	★★★	令和6年度は弥富まちなか交流館リニューアル工事設計業務が完了し、図書館機能もリニューアルすることとなりました。令和7年度にはリニューアル工事が始まることから、ハード面だけでなくソフト面も充実させ、利用者が使いやすい図書館運営を目指していきます。	拡充
(3)図書貸出事業	7,369	★★	図書館の来館者数は増加していますが、利用者数が減少していることから令和7年度のリニューアル工事に合わせて、書架の配列方法の見直しや新しいイベントを検討し、利用者数の増加や誰もが利用しやすい図書館を目指していきます。	継続 (改善)
(4)社会教育関連施設管理運営事業	183,390	★★★	市民にとって安心・安全で快適な施設となるよう整備を行っていきいますが、各施設を建設してから年数が相当経過しており、施設・設備の老朽化などが見られます。今後も引き続き適切な管理を行うとともに、施設の長寿命化改良工事などの大規模工事を実施する際には、市民にとってより魅力的な施設とすることでサービス向上にもつなげます。	継続 (改善)

### ■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
図書館で実施される事業については、令和8年5月の施設リニューアルをきっかけとして、新たな企画事業等を実施し、施設の魅力の向上と市民の利用促進に努めます。

## 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

### ■総合計画上の位置付け

総合計画 P77～80

基本目標	3	心豊かで文化を育む人づくりのまち
施策目標	3	スポーツの振興
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
誰もが気軽にスポーツや運動に楽しく接することができる環境が整ったまち		

### ■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1) スポーツ推進計画の策定・推進	生涯学習課	市民一人ひとりが日ごろからスポーツに親しみ、スポーツを楽しめるよう、「する」「みる」「ささえる」「つながら」の視点からスポーツへの参画を促し、スポーツによる地域での交流等を通して豊かなまちづくりの実現を目指して、関係機関や市民に意見を求めながら「弥富市スポーツ推進計画」を令和6年度に策定しました。	B
(2) スポーツ団体の育成・支援	生涯学習課	スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、統合型地域スポーツクラブへ補助金を交付して団体の育成を支援することができました。今後は部活動地域展開を視野に入れた指導者の確保・育成も必要です。	B
(3) スポーツ施設の整備・充実	生涯学習課	市民が安全・安心してスポーツ施設を利用できるよう、利用頻度や老朽化の状況を見ながら修繕を実施し、適切な維持管理を行いました。所管各施設の建物・設備とも老朽化が進んでいるため、耐用年数や適切な更新時期を把握しメンテナンスする必要があります。	B
(4) スポーツ振興施策の充実	生涯学習課	気軽に運動する楽しさが体感できる全世代向け体験イベントとして「YATOMIスポーツフェスティバル」を産官学の協力により開催し、スポーツを通して健康に対する意識啓発や家庭・地域の交流を支援するイベントとして「ENJOY SPORTS DAY」を開催しました。また、スポーツ教室・大会などの開催をスポーツ団体の協力により開催し、全国大会等で活躍した選手については広報等を活用して広く周知しました。	B

### ■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2) 市スポーツ協会加入者数	人	1,850	1,537					3,000	△
(3) 屋内運動施設年間利用者数	人	170,394	173,103					300,000	○
(3) 屋外運動施設年間利用者数	人	133,518	88,871					200,000	△
(4) スポーツ推進委員等主催スポーツ行事・講習会年間参加者数	人	175	119					1,000	△
(4) 市スポーツ協会等主催スポーツ大会年間参加者数	人	1,941	2,071					3,500	○
(4) 市スポーツ協会等主催スポーツ教室年間参加者数	人	4,754	130					5,700	△

### ■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(2) スポーツ活動補助事業	3,000	★★★★	スポーツ協会加入者を増やすことでスポーツ振興につながるため、継続して活動を推進する必要があります。	継続 (現状維持)
(3) スポーツ施設・設備整備事業	14,089	★★	市民にとって安心・安全で快適な施設となるよう整備を行っていきませんが、各施設を建設してから年数が相当経過しており、施設・設備の老朽化などが見られます。今後も引き続き適切な管理を行うとともに、施設の長寿命化改良工事などの大規模工事を実施する際には、市民にとってより魅力的な施設とすることでサービス向上にもつなげます。	継続 (改善)
(4) スポーツ大会・教室開催事業	3,929	★★★★	国際的な大会や海外における日本人選手の活躍でスポーツへの関心は高まってきており、誰でも気軽に参加できるスポーツ大会・教室を開催することで、さらなるスポーツの活性化や競技人口増加につなげていきます。	継続 (改善)

### ■主要施策の今後の進め方

#### この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

スポーツ推進計画に基づき多様なスポーツに親しむ機会や、レクリエーション種目に参加する機会が作られるよう、引き続き、競技団体と連携しながら事業を進めていきます。

## 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

### ■総合計画上の位置付け

総合計画 P81～82

基本目標	3	心豊かで文化を育む人づくりのまち
施策目標	4	文化・芸術の振興
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
市の歴史文化を発信する拠点として、歴史民俗資料館が有効に利用され、歴史文化に対する関心と地域への理解が深まるまち		

### ■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1)文化芸術団体、指導者の育成	生涯学習課	今後も発表の場の提供や生涯学習講座等に講師派遣を依頼するなど活動を支援し、市文化協会や市文化財保存会と協働して指導者の育成・確保に努めます。	C
(2)文化財の保存活用	歴史民俗資料館	無形文化財伝承活動を実施した35地区に対し助成を行いました。コロナ禍前の45地区から10地区減となっており、地域の伝統文化の衰退が課題となっています。	C
(3)歴史民俗資料館の有効活用	歴史民俗資料館	年間3回の企画展を開催しました。年間入館者の約半数が企画展開催期間中の入館者であり、企画展開催の効果が大きく入館者数を大幅に増加させることができました。また、SNSの活用等により年間を通じて入館者を確保できていますが、企画展以外にも幅広い事業において歴史民俗資料館を活用することも必要です。	B
(4)本市出身の文化人の顕彰	歴史民俗資料館	歴史民俗資料館所蔵の文化人に関する資料について整理や調査を進めましたが、普及事業は十分に行うことができませんでした。今後もガイドボランティアなど市民グループの活動を支援し連携を深めていく必要があります。	C

### ■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(1)市文化協会登録部員数	人	461	448					640	△
(1)市文化協会登録団体数	団体	33	32					45	△
(2)伝承活動奨励補助事業の実績数	地区	13	35					45	△
(3)歴史民俗資料館入館者数 (直近5年間の平均値)	人	10,713	26,666					20,000	◎
(4)文化人の普及に関する事業開催数 (展示会、講座、見学会等)	回	7	5					10	△

### ■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(1)文化・芸術活動補助事業	1,800	★★★	文化協会加盟団体の文化・芸術・芸能活動に関する取組が活発に行われるよう、文化振興を目的とした活動補助は必要と考えます。	継続 (改善)
(2)無形文化財伝承活動奨励補助事業	3,727	★★★	文化財保存会との共働による文化芸能大会の開催、伝承活動や道具の整備に対する補助事業を通して、地域の伝統文化の伝承活動を推進します。	継続 (改善)
(3)企画展等開催事業	162	★★★★★	企画展開催の成果が入館者数に表れているように、市民に対し本市の歴史文化の理解を深めるとともに、市内外に弥富市の魅力を発信し集客を図る手段として、今後も様々なテーマで企画展を開催していく必要があります。	継続 (現状維持)
(4)文化人情報発信事業	59	★★★	資料館所蔵資料の調査研究を進めるとともに、市民団体への情報提供や資料提供等を通して活動を支援し、協働を図ることが必要です。	継続 (改善)

### ■主要施策の今後の進め方

この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】
市民活動団体の活性化と事業継承のため、歴史民俗資料館を中心に文化財や伝承活動等の情報発信に努めることで市民の郷土愛の醸成を推進します。

## 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】

### ■総合計画上の位置付け

総合計画 P83~84

基本目標	3	心豊かで文化を育む人づくりのまち
施策目標	5	青少年の健全育成
関連するSDGs		
		
目指すべきまちの姿		
未来を担う子どもたちの健やかな成長を見守る体制が整ったまち		

### ■主要施策の取組状況及び評価

主要施策 【PLAN】	関係課	1年間の取組状況及び課題点 【DO】	評価 【CHECK】
(1) 青少年健全育成体制の充実	生涯学習課	青少年健全育成大会において弥富市3中学校生徒会による「学校を創ろう！プロジェクト」の活動発表を行うとともに、青少年問題協議会と連携して青少年犯罪防止を目的として「子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために」をテーマにネットモラル塾の開催を行いました。	C
(2) キャリア教育の促進・充実	学校教育課	継続して職場体験学習の受け入れが可能な事業所を開拓し、令和6年度には100事業所以上の協力により職場体験学習を実施しました。事業所の増加により、生徒が多様な選択肢の中で勤務観や職業観を体験することができるように、地域へ貢献する心を育むことができました。	A
(3) 青少年の体験・交流活動等の促進	生涯学習課	二十歳のつどい実行委員会を募り、自主的な式典とイベントを開催しました。参加者自らが式典やイベントを運営することで、二十歳の節目を祝うひとときがより特別なものとなるとともに、地域人材の育成にも繋がると考えます。また、交流社会活動を実施する青少年を含む団体数に変化はありませんが、郷土や地域について学ぶ講座の開催などを通じて、新たに青少年に体験活動や発表の機会を与え、担い手の増加に繋がるよう努めます。	C
	歴史民俗資料館	小学生の郷土学習の場の提供や協力を行いました。また、地域の郷土芸能への支援を行いました。	B
(4) 地域・学校・家庭等の連携	生涯学習課	学校部活動の地域展開に向けて部活動地域展開推進協議会準備委員会を開催しました。地域展開が可能な部活動から実施していき、今後も地域や各関係機関と連携して進めていく必要があります。	C
	学校教育課	児童生徒、保護者、教員に向けてとったアンケートをもとに部活動地域展開に関して市としての構想を作成しました。その構想を各関係団体代表で構成する推進協議会にて協議し、方向性が定まってきました。今後、運営組織の整備はじめ、指導者募集、生徒募集、会場調整、指導者研修、学校との連携等、具体的事項に関する準備を進めていきます。	A

### ■主要施策に関連する成果指標の達成度

【達成度】◎：目標値超過を見込む、○：目標値同等を見込む、△：目標値は達成困難、—：把握が困難

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値【DO】					目標値	達成度 【CHECK】
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和10年度	
(2) 職場体験受入れ事業所数	事業所	15	103					100	◎
(3) 交流社会活動を実施する青少年を含む団体数	団体	5	5					9	△
(4) 親子参加型の体験学習講座等参加人数	人	284	309					600	○

### ■主要施策に関連する実施計画事業の評価

【評価】必要性・妥当性・有効性・効率性の評価観点において課題がない場合は★（最大評価：★★★★）

事業名 【PLAN】	事業費 【DO】	評価 【CHECK】	この1年間の成果を踏まえた今後の進め方 【ACTION】	方向性
(2) 職場体験学習事業	95	★★★★	中学2年生という自分の将来について考え始める時期に、実際の仕事や働く人になれることで、生徒の進路や職業への関心を高め、働くことの意義や自分たちの生活が地域の働く人によって支えられていることを、生徒が実感することができます。今後も、今まで同様に、多くの事業所へ継続した協力または新規の協力をいただき、充実した職場体験を実施していきます。	継続 (現状維持)
(3) 郷土学習や体験・交流活動等の活動支援	0	★★★	交流社会活動を通じて豊かな人間性を育むための活動を行う団体数に変化はありませんが、郷土や地域について学ぶ講座を開設するなどの活動を通じて、新たに青少年に体験活動や発表の機会を与える担い手が増えるよう、引き続き事業を計画的に行うことが必要となります。	継続 (改善)
(4) 親子参加型体験学習事業	142	★★★★	親子での体験活動を通じて豊かな人間性を育むためにも、講座の申込状況などから市民のニーズを把握し、引き続き市民が参加しやすい講座の開催に努めます。	継続 (改善)
(4) 放課後の居場所づくり推進事業	0	★★★★	放課後の居場所づくりの一環として、部活動地域展開は休日の活動から平日の活動と段階的に持続可能な体制を構築していく必要があるため、活動母体となる組織の確立や既存の文化・スポーツ団体との調整、指導者の確保などを図っていく必要があります。	拡充

### ■主要施策の今後の進め方

#### この1年間の成果を踏まえた今後の進め方【ACTION】

青少年健全育成事業では体験活動や地域交流をさらに充実させ、家庭・学校・地域が連携した支援体制を強化します。SNS・非行防止等の啓発を継続し、参加機会を広げることで、主体性と社会性を育む取組みに努めます。放課後の居場所づくり推進事業については、まずは、令和9年9月の休日部活動廃止後の子どもたちの居場所づくりのため、関係団体や地域との連携を促進します。